

ネパール・ラスワ郡周辺で発生した洪水・土石流災害に関する

山岳四団体共同声明

2026年8月26日、ランタン・リルン北面における氷河の大規模崩壊に伴い土石流が発生し、中国・チベット自治区からネパール中部バグマティ州ラスワ郡およびその下流域にかけて、大規模な鉄砲水および土石流による甚大な災害が発生しました。

この災害により、多くの尊い人命が失われたほか、集落、道路、橋梁等が広範囲にわたり流失するなど、甚大な被害が生じています。また、現在もなお、多くの方々の安否が確認されていない状況にあります。

私たち山岳四団体は、このたびの災害により犠牲となられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご遺族ならびに被災されたすべての皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

また、在ネパール日本国大使館からは、被災地域を訪れていたとみられる日本人5名と連絡が取れていないことが明らかにされています。関係する皆様のご心痛はいかばかりかと拝察いたします。一刻も早く安否が確認され、無事であることを心より願っております。

現地では、上流域に新たな堰止湖が形成され、その決壊に伴う二次災害の危険性が引き続き指摘されています。当該地域およびその下流域では、今後も状況が変化する可能性があることから、安全が十分に確認されるまでの間、登山、トレッキングその他の行動については、慎重な対応が求められます。

山岳四団体の会員ならびに関係する皆様におかれましては、この地域への登山、トレッキング、その他ツアーを実施する際には、現地の状況を十分に把握したうえで、判断していただくようお願いいたします。

ネパールは、長年にわたり日本の登山者、山岳関係者と深い交流を育んできた国であり、私たち山岳四団体にとっても極めて関わりの深い地域です。

私たち山岳四団体は、被災地の一日も早い復旧・復興を心より願うとともに、今後の状況を注視し、関係機関・団体とも連携しながら、被災された方々および地域に対し、可能な範囲で必要な支援・協力に取り組んでまいります。

改めまして、このたびの災害により犠牲となられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、安否が確認されていない方々の一刻も早い無事の確認、そして被災された地域の一日も早い復旧・復興を、山岳四団体一同、心よりお祈り申し上げます。

2026年9月1日

山岳四団体

公益社団法人日本山岳会

会 長 橋本しをり

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会

会 長 町田幸男

公益社団法人日本山岳ガイド協会

理事長 武川俊二

日本勤労者山岳連盟

理事長 川嶋高志